

# ふるさとを想い、集う

## ～ふるさと会 会員募集～

ふるさと会では会員募集しています。  
山都町出身の方へ呼びかけましょう。

ふるさと会は、ふるさとを離れ、関東・関西・中部地区にお住まいの方で組織されている会で、会員相互の親睦・交流と、各地域と山都町の情報交換を図ることを目的に設立されています。ふるさと会では皆様の入会をお待ちしています。入会ご希望の方は、企画振興課（72-1214）、各ふるさと会事務局にお尋ねください。

### 【関東山都会】

5月21～23日関東山都会のみなさんがふるさと山都町へ里帰りをされました。

今回は「山都町を桜の花で」と会の皆様により通潤橋前広場にしだれ桜を寄贈いただき植樹式が行われました。また通潤山荘で交流会が開催され、関東山都会と山都町の交流を図りました。



**事務局** 東京都江東区東砂7-11-18  
「(株)三和海産」内  
事務局長 梅田章  
TEL 03-3699-6777  
FAX 03-3699-6667

### 【関西矢部会】

関西矢部会10周年記念総会を開催します。10周年を記念して多くの方に参加いただき楽しい会にしたいと思っています。関西に在住の山都町関係者の皆様、山都町民の皆様、多数のご参加をお待ちしています。

**日時** 平成22年7月11日(日) 午前10時～  
**場所** KKRホテル大阪  
(大阪市中央区 TEL 06-6941-1122)  
**事務局** 東大阪市花園東町1-17-2  
会長 吉見猪之助  
TEL 072-961-4433  
FAX 072-964-0443

### 【中部山都会】

中部山都会では毎年総会を開催し、交流、情報交換を行っています。大勢の方に出席して頂き、故郷を語り、同郷の仲間を創り、多くの情報を得て、「ふるさと」の発展「中部の仲間」の繁栄に寄与できる山都会にしたいと思っております。多くの皆様の参加をお願いします。

**日時** 平成22年11月28日(日) 午前11時～  
**場所** 中日パレス  
(名古屋市中区 TEL 052-261-8851)  
**事務局** 愛知県知多市つつじが丘4丁目19番地3  
事務局長 松岡幸雄  
TEL 0562-55-4357



① パネリストから地域づくりへのアドバイスが次々と。地元代表のお二人も馬見原のこれからについて語りました。  
② 馬見原街づくり協議会の森川弘士会長。「馬見原の歴史、美しさ、良さを感じてください。」



住民が住みやすく、美しく街にするために取り組んできました。今回の受賞は、歴代会長の尽力と関係機関の献身的な努力、そしてなにより地域住民の全面的な協力があったからこそ」と感謝を述べました。

**わが街を知る**  
続いて、日向往環についての著書で知られる末吉駿一氏の「馬見原の来た道、行く道」日向往環は時を越えて」と題した

**馬見原の歴史を学び、まちづくりシンポジウム 今後の地域づくりを考える**

馬見原街づくり協議会の森川弘士会長は「平成9年の協議会設立以降、水遊祭、すげ傘マーチ、モライアスロンなどのイベント、明徳山の植栽、川の清掃など、

5月8日、馬見原商店街の街並みが第21回くまもと景観賞大賞を受賞したことを記念した馬見原まちづくりシンポジウムが交流広場で開催されました。

**地域の協力あってこそ**  
開会式であいさつに立った、馬見原街づくり協議会の森川弘士会長は「平成9年の協議会設立以降、水遊祭、すげ傘マーチ、モライアスロンなどのイベント、明徳山の植栽、川の清掃など、

リストが自らの経験などに基き、これからの地域づくりの方法などについて語りました。くまもと景観賞選考委員会委員長の内山督氏は今回の馬見原の受賞について、「街並み整備というハード面に加えて、地域づくりに積極的で今後も発展が期待できること、街づくりの模範となるような事例であったことが受賞につながった。」と馬見原の今後に期待感を示しました。

**明日の馬見原を描く**  
最後にパネルディスカッションがあり、末吉氏と6名のパネ

基調講演が行われました。この中で末吉氏は、「このすばらしい故郷を語り継いでいかなければならない」と話し、「旅の人が歩きやすい街というのは、話し込みやすい街。そのためには街の人が街のことを知っている必要がある。」と語り継ぐことの重要性を説きました。



オープニングは大阿蘇蘇陽太鼓喜楽

地元代表として参加した、田中保文氏と宮部真沙美氏。20年前から商工会青年部で活躍してきた田中氏は、「今はテレビの影響が観光客が増えているが、日帰りではなく宿泊を伴うような仕掛けを考え中。そのためには、パワーと団結心。地元さらなる団結と活力(パワー)を与えるような街づくりをしていきたい。」と決意を語りました。中学卒業後、街を離れていたが、最近戻って協議会の取り組みに興味を持ち参加するようになった宮部氏は、「参加した街の勉強会で、馬見原を再認識した。これから年齢に関係なく、再認識することが馬見原を元気にする一番の源になる。」と提案しました。

シンポジウムの後は馬見原まち歩きが開かれ、参加者は商店街を散策。勉強会を重ねてきた街づくり協議会の方々がガイドを行いました。



まち歩きでは案内人とともに散策

**基調講演**  
末吉 駿一氏 ㈱マインド 代表取締役  
**パネリスト**  
内山 督氏 熊本大学名誉教授。くまもと景観賞選考委員会委員長  
植田 宏氏 熊本大学建築学科准教授。くまもと景観賞選考委員会委員  
星子 邦子氏 消費生活コンサルタント。県を代表する地域活性化アドバイザー  
後藤 健吾氏 黒川温泉観光協会会長。前黒川温泉観光旅館組合長  
田中 保文氏 地元代表。馬見原商店街「タナカフォトスタジオ」  
宮部真沙美氏 地元代表。馬見原商店街「肉のみやべ」  
**コーディネーター**  
徳永 哲氏 ㈱エスティ環境設計研究所所長。黒川温泉街並み整備を設計。